

全模研の先生方、ご無沙汰しております。今回は先日行われました第3回勉強会の報告と、玉川学園の後藤先生より提案のありました新企画について、そしてここ半年お騒がせしている新大会については、ついにその概要を発表できる段階まで漕ぎ着けましたのでお知らせ致します。

第3回勉強会が開かれました

昨年12月の第2回勉強会に続いて6月26日に第3回勉強会を開催しました。当日は頌栄女子学院の飯島先生に事例発表をメインに、その他報告をさせていただきました。遠くは金沢大附属の前田先生、京都大谷の林先生、田中先生にもご参加いただきました。先生の発表概要やその後の質疑応答、情報交換などは以下の通りです。

参加人数は第2回勉強会に比べ少なかったものの、発表後の質疑応答場面で豊富な意見交換ができ、研究会らしい雰囲気の中で無事終了することができました。また、発表後に後藤先生の新企画、私から新大会についての連絡がありましたが、それらは下記に詳細を記します。

実施日：6月26日（日）9：30～11：00 ACCU 会議室に於いて

参加者（敬称略）：飯島（頌栄）、柿岡（浦和西）、後藤・濱野（玉川学園）、杉浦（山手学院）、鈴木（横浜国際）、竹林（早稲田実業）、仲川（逗子開成）、林・田中（京都大谷）、前田（金沢大附属）、宮坂（浅野）、米山（公文国際）

事例発表：**頌栄女子学院 飯島先生（発表データは別添付）**

部活動としての頌栄の模擬国連の取り組みは、運動部の生徒が試合に勝つためにスキルアップさせてゆくような過程を踏んでいるようでした。例えば新歓活動と称した国連弁当や模擬サミットの実施、知識醸成のための読書会まで開いており、まさに生徒が成長するための工夫が随所にちりばめられていました。ただやはり練習試合とも言える他校との練習会議には難儀をしているようでした。発表を聞いた先生方からは多くの質問が出されましたが、とくに話題が膨らんだのが「交渉練習」についてでした。飯島先生から交渉練習方法の一例が紹介されましたが、それ以外の方法としてCCCメディアハウスから出版されている「模擬起業」の一部分が有効であるとお話をいただきましたし、玉川の後藤先生からは前回勉強会時にもご紹介いただいた「ハーバードの交渉術」、また逗子開成の仲川先生からは慶応大学の田村次朗先生をお招きして「交渉学」の講義をしていただいているという紹介がありました。慶応の田村先生は著作もあるようなので、参考にできるかもしれません。

以上、飯島先生の発表データを添付していますので、ぜひご覧いただき各校の取組の参考になさってください。

新大会について

さんざんお騒がせしております新大会についてですが、ようやく概要が固まりました。別紙添付の「第3回勉強会次第」の概要案について赤字部分については、当日話し合いをして最終的に確認を致しましたが、結論が出ないものもありました。以下にその話し合い部分を報告します。

1. 企画内容 「大会名」 **承認**
4. 開催日時 「2017年8月上旬」で**決定**

5. 開催場所 「国立オリンピック記念青少年総合センター」 承認

結局、200人規模の会議室を複数併せ持つ開閉会式1000人規模のホールを借用することは不可能だった。上記場所ならホールの規模は750人だが、200人規模の会議室は複数確保できる。

6. 参加形態・大会規模

「合計300人～750人」 承認

7. 会議形式

原案をハグ方式として諮ったが、改めて賛否両論が出されました。主な賛成意見は入門用会議と位置づけるなら時間管理ができるのでよい、アンモばかりにならずオフィシャルな議論がしっかりとできる、などでした。否定的意見としては全日本大会が違う方式だから生徒が戸惑う、国連の間も完全シミュレーションを望んでいる等です。人数的にも賛否が半々で多数決では決められないような状況でしたので、この件は保留として発表する予定です。ただ、実際の議論は分科会で行うのだから、その際に違う方式を同時並行して実施してはどうかという折衷案も出ましたので、今後の議論の参考になると思われます。

9. 必要経費

上記会場を使用すれば、会場賃借料はほぼ確定。

その他運営費は精査が必要。

10. 参加費

保留

今後の動きについて

①既に決定した概要についてはACCUのHP上で間もなく発表します。

②保留になっている案件については、今後組織される運営役員の先生方で話し合っていく予定です。

③具体的日程等の発表は予約が完了したあとの8月下旬、応募方法も含めた詳細は9月下旬以降の発表になると思われます。

そこで、新大会の 運営役員の先生方募集！

新大会はキャッチフレーズ通り、生徒に運営を任せたいと考えています。とはいえ、大人のサポートが必要なのは当然です。ある程度のご負担がかかるのは事実ですが、ご自身の役割分担で負担の調節も可能かと思われます。ぜひ多くの先生方にお手伝いいただき、一緒に大会を盛り上げていただけないでしょうか？なお、運営役員の先生は全模研の先生以外にも広く募集したいと考えています。（最終的には入会という形を取っていただきますが）

役員をやっても構わないという先生方は米山 jone_yokosuka@hotmail.com までご一報下さい。

教員の模擬国連会議～先生自身が大使になって模擬国連を経験しませんか？

先日の全模研ニュース No.5でもお伝えしましたが、玉川学園の後藤先生より上記タイトルのような提案がありました。詳しくは添付の案内文をご覧ください。いつも生徒に指示ばかり出している我々が大使を経験するのも一興です。なお、案内文にはありませんがダブルデリゲイツ方式だそうです。また、全模研の先生方以外にも全国のSGH校に案内を出しているそうです。

締切7月20日（水）、先着60名までです。ご希望の先生は早めにお申し込みを！

事務連絡

1. 第3回勉強会に出席のみなさんで第4回勉強会の日程を決定しました！
昨年と同様に12月の第2週目の日曜日で恒例化しようかと考えています。
ということで、先に日程のみをお伝えします。

第4回勉強会 12月11日（日） 開始時間、場所等は未定

2. それに先立ちまして、関西勉強会も昨年と同じ日程で開催したいと思います。

第2回関西勉強会 12月4日（日） 開始時間、場所等は未定

米山も参加予定ですが、こちらは参加者があまりにも少ない場合には中止と致しますので、参加ご希望の方は必ず米山までご一報下さい。まだ先の話ですが、今からでも参加表明を受け付けます。

3. 全模研6月30日現在の名簿を添付します。当然のことながら扱いには十分ご注意下さい。
なお、担当教科が不明な先生方がまだ少数いらっしゃいます。大変お手数ですが米山までお知らせ下さい。

以上、全模研ニュース NO,6 でした。今回は後藤先生の企画の告知もありましたので、割と素早くご報告ができました。模擬国連は全国でますます盛り上がっています。ぜひ新大会や新企画など通して研鑽を重ねて参りましょう！